

全資料目録

目次

冤罪の被害者

ハロルド・メシー・レーン／
ポーリン・ローランド・システア・レーン／
宮澤弘幸／渡邊勝平／丸山護／黒岩喜久雄／
石上茂子

*この項は本編12頁13頁と重複につき省略

- 【1】 冤罪の発生
- 【2】 冤罪の判決書
- 【3】 警察・司法の記録
- 【4】 全体像に迫る著作
全体像に迫る著作／上田三著作／
真相を広める会冊子／関連論考・記事・記録
- 【5】 上田誠吉旧蔵宮澤・レーン事件関係資料
- 【6】 軍機保護法
軍機保護法／軍機保護法の解説・検証・論考／
軍機保護法関連法規／その他関連法規等／
戦後復活策動及び現行法規等
- 【7】 冤罪ないし弾圧の検証に係る論考・文献
- 【8】 冤罪ないし罪状の検証に係る文献
- 【9】 事件の背景および人物像に迫る著作・文献
その一／その二
- 【10】 親族交友関係等の聞き取り・書信・断章
- 【11】 戦後の主な新聞記事
- 【12】 創作
- 【13】 北大・公式文献
- 【14】 北大・公開展示
- 【15】 北大・宮澤弘幸の身分等に係る学内記録
- 【16】 宮澤弘幸の遺した著作・記録
- 【17】 北大人による論考
- 【18】 北大から真相を広める会宛公文書
- 【19】 真相を広める会の集会和講演とアピール
- 【20】 真相を広める会の記録・文献
- 【21】 資料・文献の保存・展示施設

【1】冤罪の発生

①「外諜容疑者一斉検挙」Ⅱ『昭和十六年中に於ける外事警察概況』（内務省警保局外事課作成内部文書↓後出）の「戦時特別措置関係」の項中「三 外諜容疑者一斉検挙」に「予て非常事態に備えて外諜容疑者名簿を整備し、綿密なる内偵を遂げつゝありたるが、十二月八日午前七時以降 司法及憲兵当局と緊密な連絡の下に左の如く全国的に一斉検挙を実施せり」（原文は旧仮名旧漢字）と記録されている。

②「きのう払暁一斉検挙」Ⅱ『北海タイムズ』（現『北海道新聞』の前身紙の一つ）1941・12・9付朝刊。主見出しは「スパイ網一挙に覆滅」。本文は6行。あとは「内閣情報局発表」をそのまま掲載（原文は見出しとも旧仮名旧漢字）

【2】冤罪の判決書

①大審院判決Ⅱハロルド、ポーリン、宮澤弘幸の分につき各判決書の原本が最高裁判所（↓「最高裁」と略記）に現存。

簿冊「昭和十八年五月分四冊の四 刑事判決原本 大審院」

宮澤弘幸Ⅱ昭和十八年（れ）第二二六

ハロルドⅡ昭和十八年（れ）第二二七

ポーリンⅡ昭和十八年（れ）第二二八

弁護士・上田誠吉（↓上田弁護士）が右簿冊から当該判

決書の原本複写を入手（1987・1・26）。現在、北海道大学図書館（↓北大図書館）に収蔵されている。

同複写のコピーが「北大生・宮澤弘幸『スパイ冤罪事件』の真相を広める会」（↓真相を広める会）の事務局（↓真相事務局）に収蔵されている。（↓「北大図書館蔵」「真相事務局蔵」と表記）

ほかに『大審院刑事判例集』（第二三巻）、『思想月報』（一〇二号・昭和十八年四月、五月分Ⅱ司法省刑事局思想部）にも宮澤判決の一部が収録されているが、伏字、および省略が多く、検証・研究文献としては価値あるが、判決記録としては不完全。（当該部分複写を北大図書館蔵）

②一審（札幌地裁）判決Ⅱ渡邊勝平、丸山護の分については各判決の原本が札幌地方裁判所（↓札幌地裁）に現存。（原本複写を北大図書館蔵、真相事務局蔵）

ほかに、ハロルド、ポーリン、宮澤弘幸、黒岩喜久雄、および渡邊勝平、丸山護の分については内務省警保局外事課によって書き写され（↓「書写」）、内務省部内資料として印刷された文書（『外事月報』昭和十八年二月分に所載）が現存。ただし証拠、罰条にかかる部分は省かれている。（同月報の当該複写部分を北大図書館蔵、真相事務局蔵）

【3】警察・司法の記録

①『外事月報』（『厳秘 外事月報 昭和〇年〇月分 No. 内務省警保局外事課』Ⅱ諜報（スパイ）事案等を扱う外事警察の月間活動を選別記録し、部外厳秘で限定配布し

た冊子（B5判簡易印字印刷）。これの「昭和十八年二月分」に宮澤弘幸らの一審判決の書写が収録されているのを荻野富士夫・小樽商科大学教授が発見。1938年8月分から44年9月分までの復刻合本・全11巻が不二出版から刊行（1994・6）されている。（国立国会図書館に収蔵↓「国会図書館蔵」）

②『外事警察概況』（『厳秘 昭和〇年中に於ける外事警察概況 内務省警保局』）⇨右『月報』等を基に年間の外事警察活動を編集・収録した同様部内冊子で、個々には正確を欠く部分もあるが、外事警察活動の概略を追うことが出来る。同じく全8巻の復刻合本が龍溪書舎から刊行（1980年7月）されている。（国会図書館蔵）

③『思想月報』（『昭和〇年〇月 思想月報 第〇號 取扱注意 No.〇 極秘 司法省刑事局思想部』）⇨1934年7月から44年6月までの復刻合本（『昭和前期思想資料第一期』所収）が文生書院から刊行されている。（国会図書館蔵）

④『特高月報』（内務省警保局）⇨複製版が政経出版社から（1973年）、総目次集が文生書院から（1968年）、『特高警察関係資料集成』（第30巻・荻野富士夫編）が不二出版から（1994年）刊行されている。（国会図書館蔵）

〔4〕全体像に迫る著作

〈イ〉全体像に迫る著作

①『引き裂かれた青春―戦争と国家秘密』⇨真相を広め

る会・編・花伝社刊（2014・9・5）。本件・冤罪事件の全貌解明の先駆けとなる上田弁護士の三著作（『戦争と国家秘密法』ある北大生の受難⇨人間の絆を求めて⇨および本会編・刊の五冊子（後出）などを底本に、先行成果を継承し、新たに判明した事実や理解・知見を基に、事件の全体像を明らかにする決定版となるよう編纂・刊行。全判決および主罰条である軍機保護法の全文収録。（国会図書館蔵、真相事務局で頒布）

〈ロ〉上田三著作

①『戦争と国家秘密法―戦時下日本でなにが処罰されたか―』⇨上田誠吉著・イクオリティ刊（1986・2・5第一刷、1986・3・20第二刷）。秘密法および秘密法制の全体像と問題点を全て洗い出した労作。「国家秘密のうちそと」の項中「3 公知と秘密」で宮澤弘幸の事件を具体例として取り上げ、これを読み込んだ宮澤弘幸の義弟・秋間浩が上田弁護士に本格解明を訴える手紙を送ったことから、本件の全面展開となった。（国会図書館、北大文書館、各蔵）

②『ある北大生の受難―国家秘密法の爪痕―』⇨上田誠吉著・朝日新聞社刊（1987・9・28第一刷、1987・11・20日第二刷）。第二刷には、マライーニの著作発見の件が追い込み記述されている。版權が著者側に移り、花伝社から復刻版刊行（2013・4・10第一刷）。（国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵）

③『人間の絆を求めて―国家秘密法の周辺―』⇨上田誠吉著・花伝社刊（1988・7・20）。新装版（201

3・5)も刊行。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

へハ)真相を広める会冊子

①『スパイ冤罪 宮澤・レーン事件 真相を知ってほしい』|| 同会編・刊(2013・2・22)。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。略称・第一パンフ。▽第一部「スパイ冤罪を知ってほしい」▽第二部「北大における外国人教師」(寄稿・山本玉樹)▽第三部「秘密保全法への道を許さない」(寄稿・東海林智)▽第四部「冤罪家族の七十一年」(寄稿・山野井孝有)。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

②『宮澤・レーン事件 冤罪の構図』|| 同会編・刊(2013・10・10)。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。第二パンフ。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

③『宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」 引き裂かれた青春 「登山時報」所載改訂版』|| 山野井孝有著・同会編・刊(2014・2・22第一刷、2014・7・1第二刷)。第二刷では巻末「正確に伝えたい特記事項」部分を外している。

本冊子は、真相を広める会・山野井孝有が月刊『登山時報』に寄稿した原稿を基に、掲載後、新たに分かった事実・理解を加えて再編集。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。・第二パンフ。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

④『宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」北大のとした処置

と責任 冊子「真相を知ってほしい」補訂』|| 同会編・刊(2014・2・22)。第一パンフ発行後の展開を収録。北大との交渉展開、交わした文書・連絡等の全てを収録。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。第四パンフ。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

⑤『宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」北大に求めた処置と責任 冊子「真相を知ってほしい」補訂第2版』|| 同会編・刊(2015・12・8)。第四パンフを全面見直し、同パンフ刊後の展開を加え、再編集した決定版で、花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。第五パンフ。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

へニ)関連論考・記事・記録

①「岳人・宮澤弘幸『スパイ冤罪事件』―青春を引き裂いた戦争―」|| 山野井孝有・月刊『登山時報』(日本勤労者山岳連盟編・刊)に寄稿連載(2013年8月号〜2014年1月号)。(真相事務局蔵)

②「国防保安法とスパイ事件―なにが処罰されたか―」|| 上田誠吉・月刊『文化評論』(1986年1月号・新日本出版社刊)所載。この論考が牽引となって『戦争と国家秘密法』に着手。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

③『核時代の国家秘密法』|| 上田誠吉著・大月書店刊(1987・1)。(国会図書館蔵)

④「スパイ防止ってなんだ 新聞週間を機に」|| 『朝日新聞』朝刊連載(1986・10・12〜21、計10回)。(①②④)で宮澤弘幸の事例を冤罪の視点から、新聞記事として初めて取り上げる。上田弁護士の見解も織り込

む。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

⑤「北方の『国家秘密』―『スパイ』にされた青年たち」
|| 上田誠吉・月刊『文化評論』(1987年10月号)所
載。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

⑥「ドラマの終幕・コロラドへの旅―『ある北大生の受
難』余話」|| 上田誠吉・月刊『文化評論』(1988年4
月号)所載。この旅でマライーニの未邦訳著作が見つかり、
これが牽引となって『人間の絆を求めて』の刊行に
着手、「上田三著作」が揃う。(国会図書館、北大文書館、
各蔵)

⑦ビデオ発刊「レーン宮澤事件―もうひとつの12月8
日」|| ビデオプレス刊・発売(1993・12)。演出・
秋元健一。(北大文書館、真相事務局、各蔵)

⑧テレビ報道「スパイの妹と呼ばれて―73年目の宮澤・
レーン事件」|| NHK北海道クローズアップ(2014・
6・28放送)

⑨テレビ報道「兄はスパイじゃない―北大生の妹73年目
の苦闘」|| NHK地方発ドキュメンタリー(2014・
7・15全国放送)

⑩ラジオ報道「秘密く今 明らかになる ある大学生の
死」|| 毎日放送(大阪) 報道特別番組(2014・3・
31放送)

【5】上田誠吉旧蔵宮澤・レーン事件関係資料

上田弁護士(1926〜2009年)の遺族(妻・圭子)
が北大に寄贈(2011・11・29)した同弁護士の

手元資料。北大文書館・井上高聡(現・准教授)が上田
弁護士本人の仕分けを基に整理して「目録」を作成。同
文書館の年報第7号(2012年3月)に所載。全11
10点。

▽1 宮澤・レーン事件関係判決書の原本複写。

▽2 ノート・原稿ファイル|| 「高橋あや子聞き取り」
など

▽3 資料ファイル(1)〜(16) || 上田弁護士宛て
秋間浩書簡などの書簡多数、宮澤雄也戸籍謄本などの基
礎資料、黒岩喜久雄聞き取りなど関係者聞き取りメモ、
「ある北大生の受難」構成案などの構想、草稿、メモ、
写真、その他。(北大文書館蔵)

【6】軍機保護法

へい 軍機保護法

①軍機保護法(1937年改正) || 官報第三二八五號(昭
和十二年八月十四日土曜日)に所載。1937年3月9
日貴族院可決。同年8月7日衆議院可決(付帯決議付)、
同年8月13日公布、同年10月10日施行。(国会図書
館蔵)

②軍機保護法・付帯決議 || 官報號外「昭和十二年八月八
日衆議院議事速記録第十三號」に所載。(国会図書館蔵)

③軍機保護法・議會審議録 || 第七十回帝國議會の貴族院
先議で可決し衆議院に送付したが、衆議院解散(三月三
十一日)で審議未了となり、第七十一回帝國議會で貴族
院再可決の上、衆議院でも可決▽第七十回帝國議會貴族

院議事速記録第九號・第十四號(帝國議會貴族院議事速記録63)収録。東京大学出版会刊)▽第七十回帝國議會貴族院軍機保護法改正法律案特別委員會議事速記録第一號(第六號(帝國議會貴族院委員會速記録昭和篇61)収録。東京大学出版会刊)▽第七十回帝國議會院議事速記録第三十二號(帝國議會衆議院議事速記録68)収録。東京大学出版会)▽第七十一回帝國議會貴族院議事速記録第三號・第五號(帝國議會貴族院議事速記録63)収録。東京大学出版会)▽第七十一回帝國議會貴族院軍機保護法改正法律案特別委員會議事速記録第一號(帝國議會貴族院委員會速記録昭和篇64)収録。東京大学出版会)▽第七十一回帝國議會衆議院議事速記録第七號・第十三號(帝國議會衆議院議事速記録69)収録。東京大学出版会刊)▽第七十一回帝國議會衆議院軍機保護法改正法律案委員會議録第一回(第六回(帝國議會衆議院委員會議録昭和篇82)(国会図書館蔵)

④軍機保護法海軍施行規則(海軍省令第二十八號) 規則は省令で制定。1937年10月7日付。39年8月21日付(同省令第二十號)、同年12月21日付(同省令三十八號)、40年10月31日付(同省令二十二號)、41年3月付(同省令第八號)でそれぞれ一部を改正。官報のほか、『戦時、軍事法令集』(国書刊行会・1984年刊)にも収録されている。(国会図書館蔵)

⑤軍機保護法陸軍施行規則(陸軍省令第四十三號) 1937年10月7日付。39年12月12日付(同省令五十九號)で一部を改正。官報のほか『戦時、軍事法令集』に収録。(国会図書館蔵)

〈ロ〉軍機保護法の解説・検証・論考

- ①『軍機保護法』 日高巳雄著・羽田書店刊(1937・12・15) 日高は陸軍省書記官・法務官。(国会図書館蔵)
- ②『改訂 軍機保護法』 日高巳雄著・羽田書店刊(1942・2・20)(国会図書館蔵)
- ③「研究ノート 軍機保護法等の制定過程と問題点」(防衛研究所紀要 第14巻第1号 防衛省 2011・1・12) 林武・和田朋幸・大八木敦裕。(国会図書館蔵)
- ④「軍機保護法の運用を顧みて」 伊達秋雄(当時・最高裁調査官)・月刊『ジュリスト』(有斐閣1954年6月号) 特集「秘密保護に関する法制」への寄稿。日米相互防衛援助協定等に伴う秘密保護法にからむ特集記事。(国会図書館蔵)

〈ハ〉軍機保護法関連法規

- ①『戦時・軍事法令集』 現代法制資料編纂会編・国書刊行会刊(1984・3・20)(国会図書館蔵)
- ②戦時刑事特別法 法律第六十四號(1942・2・24)、同改正法律 第五十八號(1943・3・13)
- ③要塞地帯法 法律第五號(1899・7・15)
- ④軍用資源秘密保護法 法律第二十五號(1939・3・25)
- ⑤陸軍刑法 法律第四十六號(1908・4・10)
- ⑥海軍刑法 法律第四十八號(1908・4・10)

- ⑦ 国防保安法 法律第四十九號 (1941・3・7)
- ⑧ 治安維持法 法律第四十六號 (1925・4・22)
- ⑨ 国家総動員法 法律第五十五號 (1938・4・1)
- ⑩ 戦時特別措置
- ⑪ 帝国国策遂行要領
- ⑫ 「防諜参考資料 防諜講演資料」 内務省警保局外事課編 (1941・4) (国会図書館蔵)
- ⑬ 「防諜関係法令集」 司法省刑事局編・清水書店刊 (1941・7) (国会図書館蔵)
- ⑭ 「講話録 特輯(戦時法令解説)」 警察講習所編・刊 (1942・11・26)

〈二〉その他関連法規等

- ① 『戦時行刑実録』 戦時行刑実録編纂委員会編・財団法人矯正協会刊 (1966・3・31) (国会図書館蔵)
- ② 収容者食糧給与規定 戦時飢餓下にあつて、刑務所服役者に給する食糧は一般配給量を上回つてはならないと、いう発想で生まれた規定 (1943・8)
- ③ 政治的市民的及び宗教的自由制限の除去に関する覚書 といわゆる「GHQ指令」(連合国軍総司令部)。超法規命令としての強制力があつた。(国会図書館蔵)
- ④ 思想犯受刑者の釈放に関する通達(司法省刑事局長)
- ⑤ 勅令 議会審議を経ない天皇大権による法令。GHQ指令による軍機保護法などの廃止も、法手続のうえでは勅令に拠つた。

〈ホ〉戦後復活策動及び現行法規等

- ① 日米相互防衛援助協定等に伴う秘密保護法
- ② 防衛秘密に係るスパイ行為等の防止に関する法律(案) 1982年7月
- ③ 国家秘密に係るスパイ行為等の防止に関する法律案(通称・国家秘密法、スパイ防止法) 1985年12月、審議未了で廃案。
- ④ 防衛秘密を外国に通報する行為等の防止に関する法律案(自民)。国会上册に至らず。1987年2月
- ⑤ 特定秘密の保護に関する法律(特定秘密保護法) 2014年12月10日施行
- ⑥ 安全保障関連法(戦争法) 2016年3月29日施行
- ⑦ 改正・組織的犯罪処罰法(共謀罪法) 2017年7月11日施行

〔7〕 冤罪ないし弾圧の検証に係る論考・文献

- ① 『北の特高警察』 荻野富士夫著・新日本出版社刊 (1991・10)。(国会図書館、北大文書館、各蔵)
- ② 『特高警察体制史 社会運動抑圧取締の構造と実態』 増補新装版 荻野富士夫著・せきた書房刊 (1988・11)。(国会図書館、北大文書館、各蔵)
- ③ 「戦時下の言論・思想弾圧」 荻野富士夫・講演録(真相を広める会『会報』第14号)。(真相事務局蔵)
- ④ 「社会運動取締管見」 安井英二・『警察研究』(1931年7月)に所載。(北大文書館蔵)
- ⑤ 「アメリカ東京総領事館調査報告書」 外事課が入手したもの『外事警察概況』昭和十六年分に収録(当該

分を北大文書館蔵)

⑥「大槻ユキに関する消息」 富森虔児が福島清らに宛てた書信。大槻ユキに関する消息は「北海道社会文庫通信」(後出)にも断片あるが、極めて乏しい。(真相事務局蔵)

⑦学徒出陣 、『朝日新聞』1943年10月20日付朝刊。宮澤弘幸の弟・晃(当時・慶大生)が壮行の辞を述べる式次第になっていたが、直前になって差し替えられた。弘幸の弟と分かったことによる。

⑧レーン夫妻娘解雇 、『外事月報』1939年9月分によると、札幌市内のホテルでアルバイトすることになっていたのを、要監視対象者の娘であることから、外事警察の差し金で解雇した。(当該分は真相事務局蔵)

⑨『十五年戦争下の登山―研究ノート』 西本武志著・本の泉社刊(2010・8)。(国会図書館蔵)

⑩『網走獄中記』 村上国治著・日本青年出版社刊(1970)。(国会図書館蔵)

⑪『博物館 網走監獄』 重松一義著・網走監獄保存財団刊(2002・1・10)。網走刑務所の歴史をはじめ全てが分かる。(国会図書館蔵)

『昭和史全記録』 毎日新聞社刊(1989・3・5第一刷)。(国会図書館、真相事務局、各蔵)

⑫『戦時下の北星女学校』 同校スミス・ミッション・センター編・響文社刊(2007・3)。キリスト教弾圧が生徒にも及んでいたことが手記によって証言されている。(国会図書館蔵)

⑬『北光教会 七十年の歩み』 、『七十年の歩み 札幌

北光教会創立70周年記念1896〜1966』同教会編・刊(1966・10・2)。戦時中のキリスト教会の有ようを自己批判込め検証している。同教会の宣教師を務めたボーリンの父ジョージ・ミラー・ローランドと妻ヘレン・グッドリッジの事績にも触れている。(国会図書館蔵)

⑭「敗戦前後における公文書の焼却と隠匿」 吉田裕著・青木書店刊(1997・7・25) 『現代歴史学と戦争責任』のV。内務省はじめ各省庁、地方官庁での状況を詳細に検証している。

⑮論考「1941年12月8日 スパイ冤罪・宮澤弘幸検挙時の検証」 大住広人・真相を広める会ホームページに掲載。(真相事務局蔵)

【8】冤罪ないし罪状の検証に係る文献

①『日米交換船』 加藤典洋 鶴見俊輔 黒川創ら談・著・新潮社刊(2006・3)。開戦時に相手国にいた外交官、抑留者らを相互に第三国の港に運び交換した経緯を公文書を基に記録したもので、レーン夫妻の乗船経緯にも詳しい。冤罪事件の概略も項を設けて収録(国会図書館、北大文書館、各蔵)

②『第二次交換船 帝亜丸の報告』 青木ヒサ著・前田書房刊(1944・3・20)。レーン夫妻らが横浜港で乗船しインド・ゴア港でアメリカ・ニュージャージー港から来たグリップフォルム号の乗船者と相互に乗り換え。著者はアメリカからの送還者で、レーン夫妻とは逆

のコースになるが、日記体の船内体験・見聞録は交換船の状況、雰囲気をよく伝えている。(国会図書館蔵)

③『燈臺船 羅州丸』 齋藤謙蔵著・東晃社刊(1942・7・15)。宮澤弘幸が便乗した船の来歴に詳しい。(国会図書館蔵)

④根室海軍飛行場の見学の件公文書 Ⅱ「大要機密第二七一號の二」昭和九年八月四日付、(海軍)大湊要港部副官発根室町長他宛。件名は「米國海軍武官根室飛行場見学の件通知」。根室町長の昭和九年八月六日付受領印が押印されている。(根室市の郷土史家・近藤敬幸が発見、原本複写所蔵、コピー真相事務局蔵)

⑤『根室千島両國郷土史』 本城玉藻編・1933年刊。根室海軍飛行場の竣工記録所載。(国会図書館蔵)

⑥『根室要覽』 根室町発行(1934年版)。根室海軍飛行場の記述所載。(根室市の郷土史家・近藤敬幸所蔵)

⑦「根室千島鳥瞰図」 Ⅱ『根室日報』社が1934年に発行した絵葉書で、根室海軍飛行場の全景が入っている。「引き裂かれた青春」に複写掲載。(コピー真相事務局蔵)

⑧「北緯五〇度線の旅―サハリン少数民族との交流を求めて」 Ⅱ田中了・月刊『世界』(岩波書店)1988年7月号所載。田中了はウイルタ協会事務局長。宮澤弘幸が訪ねたオタスの森についてルポしている。(国会図書館蔵)

⑨「北東方面海軍作戦」 Ⅱ防衛庁防衛研究所戦史室編。上敷香飛行場など記載。(国会図書館蔵)

⑩北東方面陸軍作戦 Ⅱ防衛庁防衛研究所戦史室編。北千島要塞など記載。(国会図書館蔵)

⑪「ニッポン号世界一周」 Ⅱ『東京日日新聞』(現・毎日新聞)1939年8月27日付朝刊。根室海軍飛行場が国民公知の存在だったことが知れる。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

⑫「北千島新風土記」 Ⅱ『朝日新聞』1941年7月17日から計8回連載。軍施設のある北千島の風物がそれなり報じられている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

【9】事件の背景および人物像に迫る著作・文献

〈イ〉その一

①『武田弘道追悼集 会議は踊る ただひとたびの』 Ⅱミネルヴァ書房刊(1985・7・27)。武田弘道は「心の会」創立の一員で、北大予科から京都大学に入学。同大教授となったが、事故死。フォスコ・マライーニらが寄稿、「心の会」の追想が記されている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

②『フォスコの愛した日本 受難のなかで結ぶ友情』 Ⅱ石戸谷滋著・風媒社刊(1989・6・15)。フォスコの動静を通して、宮澤弘幸と「心の会」の消息、そして軍国日本の様相が織り込まれている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

③『白聖館の人たち』 Ⅱ村田豊雄著・これの花詩社刊(1969)。村田豊雄は北大工学部書記(会計係、戦後に事務長)。戦前・戦中の北大をめぐる人模様が随想風に描かれ、宮澤弘幸らが検挙された前後の風聞・伝聞も織り込まれている。はじめ『北工会誌』に連載。(北大文書館蔵)

- ④『随筆日本 イタリア人の見た昭和の日本』|| フォスコ・マライーニ著・岡田温司監訳・松籟社刊(2009・11)。北大生・宮澤弘幸と最も濃密な交友関係にあったイタリア人留学生(北大医学部無給助手・宮澤ら検挙時は京都大学イタリア語科教師)。京大赴任までは自宅に宮澤弘幸を下宿させている。第二章「東京、世界の交差点沈黙に語りかける」で、鋭く温かく書き込んでいく。戦後・釈放後の宮澤弘幸の肉声を記録した文献として、おそらくは唯一と思われる。原題(イタリア語) Ore giapponesi (1956年刊) 英語訳刊 Meeting with Japan (The Viking Press 1960刊・エリック・モスバッヒア訳)。(国会図書館蔵)
- ⑤「PASSEROTTO 半世紀前の札幌の思い出」|| マライーニ『武田弘道追悼集』への寄稿の表題。
- ⑥「私の日本体験」|| フォスコ・マライーニ・季刊『国際交流』(77号1997・10・1 国際交流基金刊)に寄稿(肩書・フィレンツェ大学名誉教授)。(国会図書館蔵)
- 冤罪事件との直接かかわりはなく、このほかマライーニの著作には▽『アイヌのイクバスイ』(アイヌ民族博物館刊1994年・イタリア文化協会東洋研究書第一巻)▽『チベットーそこに秘められたもの』(理論社1958年刊)▽『ヒマラヤの真珠』(理論社1956年刊)―など。
- ⑦「番外 フォスコ・マライーニ人物伝」|| 北大山岳部ホームページ。Fosco Maraini (1912~2004年)
- ⑧『ダーチャと日本の強制収容所』|| 望月紀子著・未来

社刊(2015・3・10)。ダーチャはマライーニの長女で作家。(国会図書館蔵)

⑨『国家秘密法に反対する市民集会「宮沢事件の真実」(札幌弁護士会主催)記録集』|| 同弁護士会編・刊(1962・10・) 発言録、寄稿、聞き書き、手記など収録。

⑩「もう一つの12月8日(1987・12・6の放送から) 落合恵子の ちょっと待って MONDAY」|| JOAR文化放送発行(1988・3・31)。松本照男、上田誠吉、秋間美江子が各寄稿。(北大文書館、真相事務局、各蔵)

⑪「H・ヘッカー来訪者録」コピー|| 1938~1942年分。ヘルマン・ヘッカーは北大予科のドイツ語教師で、「心の会」の創立会員。自宅官舎にノートを常備し、来訪者が自由に書き込んだ。(北大文書館蔵)

⑫「ヘッカー追悼特集」|| 雑誌『北大季刊』(北大季刊刊行会刊。1969年31号で廃刊)に「退官記念講演」(28号)「追悼特集」(30号) 所載。(国会図書館蔵)

⑬「フジクラにかかる人ありき」『ある北大生の受難』を読んで || 加賀谷誠一・藤倉電線社内誌『フジクラ』(1988年3月号)に所載。加賀谷は同社社長。宮澤弘幸の父親は同社工場長。(北大文書館蔵)

⑭「宮沢弘幸君との悲しきふれあい」|| 大條正義・『東京エルム新聞』(東京エルム会刊。2004年廃刊)の323号と324号に「上」と「下」で掲載。(国会図書館蔵)。
大條正義は宮澤弘幸の先輩で、「心の会」の命名者。予科時代の宮澤弘幸と下宿を共にしている。

⑮ 「遠友夜学校の新渡戸精神を継承―半沢洵」 梶田博昭著・『百折不撓物語』(地域メディア研究所刊2005・12・8) 所載(国会図書館蔵)。

⑯ 『札幌弁護士会百年史』 同史編纂委員会編・同弁護士会刊(1983・7・28)。宮澤弘幸の弁護士の人だった斎藤忠雄弁護士の業績、特高対応の背景などを知ることができる。(国会図書館蔵)。

〈ロ〉その二

① 『バビロン女囚の記』 内田ヒデ・『ホーリネス・バンドの軌跡 リバイバルとキリスト教弾圧』(昭和キリスト教弾圧史刊行会編・新教出版社1983・9刊)に収録。同会牧師で、戦時キリスト教弾圧で札幌拘留所に留置されていたとき、ポリーンらと出会い、当時の消息を記している。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

② 『日本を映す小さな鏡』 オール・マイナー著・吉田健一訳・筑摩書房刊(1962・6・30)。オール・マイナーはレーン夫妻の四女バージニアの夫。GHQ(連合国軍総司令部)要員を経て帰国後アメリカ・プリンストン大学教授。原題はA Little mirror of Japan レーン夫妻の検挙された前後の消息、時代の様相が家族の回想を基に織り込まれている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

③ 『スキヤンダラスな人びと―レーン夫妻スパイ事件と私たち』 岸本羊一著・新教出版社刊(1991・7)。キリスト者の視点からキリスト者への戦時弾圧を告発している。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

④ 「レーン先生のことなど」 植木迪子・『北海道教育大学附属中学校同期会通信2015年』 所載。植木はヘッカー宅に同居していた瀧澤義郎の娘。当時の官舎の様子がよくわかる。冊子『戦後70年の曲がり角で―レーン夫妻を語る』(後出)に転載されている。

⑤ 「北星学園創立百周年記念とレーン家の娘たち」 常田二郎・新聞『基督教世界』(基督教世界社刊・1987年10月10日)に所載。常田二郎は牧師。(北大文書館蔵)

⑥ 『北星学園百年史』 同学園編・刊(1990・7)。北星学園はアメリカ人宣教師が1880年に前身を創立し、一貫して女子教育に実績を重ねると共に、札幌と周辺在住の外国人らと共に文化交流の場を設けてきている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

⑦ 『戦後70年の曲がり角で―レーン夫妻を語る』 同名の集いの記録冊子(主催の「宮澤レーン事件を考える会」が学習資料No.2として編・発行。同会、真相事務局各蔵)

▽講演録「レーンご夫妻の愛した北大、そして札幌」 レーン夫妻らの詳細な略歴も添付(松竹谷智)

▽寄稿「レーン夫妻に関する新聞の記事から」 札幌市公文書館保存の新聞スクラップの中から戦前、戦中、戦後の記事を発掘して、全文添付(河道前伸子)

▽同「交換船での出会い レーン姉妹と岩手の宣教師一家」 交換船での体験、見聞などを綴った宣教師夫妻の著書『嵐の中を』『やくそく』、および宣教師が検挙された当日の新聞記事などを紹介(吉田栄一)

▽同「レーン夫妻の感謝状―1944年3月の新聞記事」
‖戦争中に日米交換船で出国後に札幌に届いたとされる
不思議な手紙の顛末（岸本和世）

▽ほかに丹保憲仁、田中豊、相馬述之、笠巻明弘、越智
さと子、安井はるみ、大山綱夫、水野直治、橋本邦江、
指方信平、刈谷純一、向井承子らの談、寄稿。

⑧レーン夫妻感謝状の記事‖『北海道新聞』（1944・
3・12朝刊3面）「忘れられぬ恩情 スパイ事件のレー
ン夫妻から 切々片假名の感謝状」。夫妻が日米交換船で
出国後、収監されていた札幌大通刑務所支所（拘留所？）
の所長宛に各々送ったとされる感謝の手紙が掲載されて
いる。届いた経路、経緯とも不明だが、内容から推して
偽書と断じることができない。（コピー真相事務局蔵）

⑨『嵐の中を』‖コーネリア・R・シュレーヤ、ギルバ
ート・W・シュレーヤ著（三原圭子訳）・日本基督教団出
版局刊（1991・6・10）。第一次日米交換船で帰国
したレーン夫妻の双子の末娘の船内での様子が書き込ま
れている。（国会図書館蔵・盛岡大学に英語版蔵）

⑩『やくそく』‖ギルバート・W・シュレーヤ著・岩手
日報社刊（1980・11）。同じく日米交換船での様子
が書かれ、添付の写真には双子の姉妹も写っている。（岩
手県立図書館蔵）

⑪『新岩手日報』（1941・12・9）‖朝刊3面にギ
ルバートが検挙される前日（12月8日）の動静にかか
る記事があり、当時の状況、心境も読み取れる。（コピー
真相事務局蔵）

⑫『岩手福音宣教百年史』‖岩手カトリック宣教再開百

年祭実行委員会刊（1974・6・3）。ギルバート宣教
師らの受難について、検挙、取調べ、拘留所の状況を含
め詳細に記録されている。（岩手県立図書館蔵、国会図書
館蔵）

⑬「特高にスパイと呼ばれても―英語教師ポーリン・レ
ーン」‖梶田博昭著・『百折不撓物語』（地域メディア研
究所刊2005・12・8）所載（国会図書館蔵）。

【10】親族交友関係等の聞き取り・書信・断章

①秋間美江子‖聞き手・上田弁護士。書簡往復も多。（北
大文書館蔵）▽集会へのメッセージ（真相を広める会『会
報』第5号収録）▽発言録「がんより国の政治が怖いの
です」（同『会報』第7号）▽発言録「スパイ家族の苦し
み」（同『会報』第9号）

②大條正義‖聞き手・郷路征記（弁護士・札幌弁護士会）。
1987年6月18日札幌弁護士会に収録。（北大文書館、
真相事務局、各蔵）

③松本照男‖聞き手・郷路征記（弁護士・札幌弁護士会）。
1987・6・18札幌弁護士会に収録。松本は上田弁
護士との書簡往復も多。「心の会」創立の一員。（北大文
書館蔵）。山本玉樹宛て書信（2015・6・18）でレ
ーン夫妻関係のメモ、写真コピーを「真相を広める会」
へも提供。

④滝沢義郎‖上田弁護士宛て書簡（北大文書館蔵）

⑤マライニー‖上田弁護士宛て書簡（北大文書館蔵）

⑥武田ひろ子‖聞き手・岩本勝彦（弁護士・札幌弁護士

会)。電話による。(北大文書館蔵)

⑦ 小沢保知⇨上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

⑧ 高橋あや子⇨聞き手・上田弁護士。書簡往復も多。(北大文書館蔵)

⑨ 田中しづ⇨上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

⑩ 黒岩喜久雄⇨聞き手・上田弁護士。書簡往復も多。(北大文書館蔵)

⑪ 内田ヒデ⇨聞き手・上田弁護士。(北大文書館蔵)

⑫ 石戸谷滋⇨上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

⑬ 荻野富士夫⇨上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

⑭ 高村淑子⇨レーン夫妻のドロシー、キャサリンと遊んだ記憶について、『毎日新聞』寄稿欄「女の気持ち」(2013・10・21)に投稿。

⑮ 「フオスコ・マライーニさんから聞く」⇨札幌弁護士会1987年5月1日。(北大文書館蔵)

⑯ 「斎藤先生に聴く」⇨1987・2聞き手・岩本勝彦(弁護士・札幌弁護士会)。(北大文書館蔵)

⑰ 札幌弁護士会『会報』⇨

【11】戦後の主な新聞記事

① 「スパイ防止ってなんだ」⇨『朝日新聞』連載。既出。

② 「宮沢事件 46年ぶり問い直す」⇨『北海道新聞』夕刊(1987・7・3)(当該記事分・北大文書館蔵)

③ 「国家秘密法への警鐘 宮沢事件」⇨『朝日新聞』夕刊(1987・7・2)。(北海道版は7・6付・北大文書館蔵)

④ 「宮沢事件 不幸な家族もう二度と…」⇨『北海道新聞』(1987・7・8、当該記事分・北大文書館蔵)

⑤ 「46年前の宮沢事件」⇨『毎日新聞』(1987・7・21)(北海道版、当該記事分・北大文書館蔵)

⑥ 「レーン・宮沢事件から70年」⇨『北海道新聞』(2011年12月5日付から5回連載)。(当該記事分・北大文書館蔵)

【12】創作

① 「小説スパイにされた北大生・宮沢弘幸」⇨福山瑛子著・季刊誌『季論21』2016夏号に所載(同編集委員会刊2016・7・20)。登場人物には実名を用いながら展開は創作のいわゆる実名小説。(国会図書館、真相事務局蔵)

② ビデオ「構成劇エルムに寄せて」⇨作・演出は乳井有史。同名の「構成劇と講演のつどい」(宮澤・レーン事件を考える会、ピーアンビシヤス9条の会・北海道共催2016・12・11)での上演を収録。

【13】北大・公式文献

① 『北海道大学創基八十年史』⇨1965年刊(国会図書館、北大文書館、各蔵)

② 『北大百年史』通説・部局史⇨1982年7月、2080年3月刊(国会図書館、北大文書館、各蔵)

③ 『北大の125年』⇨2001年3月刊(国会図書館、

北大文書館、各蔵)

④『写真集 北大125年』(国会図書館、北大文書館、各蔵)

⑤『北大百二十五年史』(2003年12月刊(国会図書館、北大文書館、各蔵))

⑥『北大時報』(北大・広報課)『榆蔭』(北大・附属図書館)『瓔珞』(北大・教養部) 学内誌。宮澤弘幸旧蔵アルバム受贈(時報704号・2012年11月)、レイン文庫・レイン記念賞(時報520号1997年7月、榆蔭45号1977年10月20日、瓔珞20号1981年10月)など、動静を拾うことができる。(北大文書館蔵)

【14】北大・公開展示

①北大総合博物館・展示 簡単な経緯を記したパネル。
②北大百年記念館・展示 北海道大学沿革史 展示の中に宮澤・レイン冤罪事件にかかる一画を設けている。

【15】北大・宮澤弘幸の身分等に係る学内記録

- ①豫科学籍簿(1938~1941年)
- ②工學部学籍簿(1941~1947年)
- ③退學願(1942年4月1日付)・退學指令書議案書 原簿名「入學退學休學卒業ニ關スル書類自昭和十七年至昭和十九年」
- ④第四百二十七回教授会(1942年5月7日付) 原簿名「教授会記録 昭和十七年度北海道帝國大学 工學部」

⑤復學願(1945年12月8日付)・復學指令議案書 原簿名「退學休學入學卒業關係自昭和二十年四月至昭和二十一年」

⑥死亡届(1948年1月31日付)・休退學許可伺 原簿名「休學退學復學伺簿 昭和二十三年度以降」

⑦第五百五十五回教授会(1948年3月11日付) 原簿名「教授会記録 昭和二十一年度北海道帝國大學工學部」

*以上、原本乃至原本複写は北大文書館に所蔵。真相事務局にもコピー蔵。

【16】宮澤弘幸の遺した著作・記録

- ①「大陸一貫鉄道論」 南満州鉄道株式会社(満鉄)が学生・生徒向けに公募した懸賞論文に、受賞後、手を加えた著作を同社発行の『満鉄グラフ』(1941年5月号~8月号)に連載。(北大文書館蔵)
- ②「満州を巡つて(一)」 『北海道帝國大学新聞』第241号(1940年11月12日付) 2面に掲載。以下「満州を巡りて(二)」 旅行メモより 『北海道帝國大学新聞』第242号(1940年11月26日付) 4面、「満州を巡りて―旅行メモより」 『北海道帝國大学新聞』第243号(1940年12月17日付) 4面に連載。(北大文書館蔵)
- ③「戦車を習ふ」 『北海道帝國大学新聞』第251号

- (1941年6月10日付)2面に掲載。(北大文書館蔵)
- ④ 詩作「真理は時に嘆く」||『櫻星會雜誌』(北大予科文芸部)第四十六号に掲載。(北大文書館蔵)
- ⑤ 山の詩、ほか一篇。(表題のみ北大文書館蔵)
- ⑥ 女性観ノート||『北大文芸』(1938年11月)(表題のみ北大文書館蔵)
- ⑦ 弁論・演題||「宗教に対する一私見」(1938年弁論部例会)「美を見凝めて」(1938年6月15日春季札幌公開講演会)「不思議な話」(1938年8月20日)「27日夏季巡回講演会」「人間の問題」(1940年2月10日予科実科合同講演会)いずれも『北海道帝国大学新聞』に掲載。(北大文書館蔵)
- ⑧ 雪小屋(イグルー)実験手記||宮澤弘幸、マライーニ連名で『北海タイムス』掲載(1940・2・4〜5)
- ⑨ 十勝連峰縦走記録||『北海タイムス』に掲載(1940・3・24、25朝刊に上・下)
- ⑩ 写真アルバム||北大予科入学(1937年4月)以来、宮澤弘幸が学内外で撮影、あるいは撮影された写真を整理し、克明に説明・所感を添記したアルバム。遺族(実妹)・秋間美江子が二度にわたって北大に寄贈(2012年10月24日、2014年5月17日)。北大文書館で収納。
- ⑪ 「心の会」発足記念写真||原稿の所在は不明。印刷されたものでは『武田弘道追悼集』に掲載されているのが、一番古いと思われる。太黒宅で撮影され、会の発足時の全員が写っている。『引き裂かれた青春』にもコピー掲載(34ページ)

⑫ マライーニ帰国時の記念写真||原稿の所在は不明。印刷されたものでは『フオスコの愛した日本』掲載が最初。『引き裂かれた青春』にもコピー掲載(118ページ)。マライーニと家族、宮澤弘幸と父・雄也、弟・晃らが写っている。1946年2月16日の撮影で、宮澤弘幸はこの一年後の1947年2月22日に死去。

⑬ 留学希望||『朝日新聞』朝刊一面コラム「天声人語」(1946・1・25、1946・2・6)にアメリカ留学を素材にした世情寸評を掲載、宮澤弘幸を匿名で揶揄している。北大文書館年報第9号に全文転載。(北大文書館蔵)

〔17〕北大人による論考

① 逸見勝亮「宮澤弘幸・レーン夫妻軍機保護法違反冤罪事件再考―北海道大学所蔵史料を中心に―」||『北海道大学文書館年報』第5号(2010・3・31)所載。肩書は文書館・館長。事実関係を調べたうえで北大としての対応に初めての論及。宮澤弘幸の学籍簿、教授会記録、レーン夫妻との北大教師契約、文部省当局との往復文書等の原本写しを収録。(北大文書館蔵)

② 井上勝生「戦時下、時代に棹さした北大生宮澤弘幸再論;逸見勝亮氏『宮澤弘幸・レーン夫妻軍機保護法違反冤罪事件再考』評」||『北海道大学文書館年報』第6号(2011・3・31)所載。肩書は北大名誉教授。「評」とあるように、逸見論考の資料解釈に対する批判が主体。(北大文書館蔵)

③ 井上高聡「研究ノート 工学部学生宮澤弘幸の在学について」Ⅱ『北海道大学図書館年報』第9号（2014・3・31）所載。肩書は大学文書館員（現・准教授）。逸見論考以後に見つかった学内文書・記録類、および宮澤弘幸の北大生としての学業、課外活動等を記録した文書・記録類、宮澤弘幸が『北海道帝國大學新聞』等に寄稿・掲載された作品・論考等の写しなど関係文献を全収録し論考。（北大文書館蔵）

④ 『治安維持法』下の北大生の抵抗運動Ⅱ河野民雄編著（真相事務局蔵）

⑤ 「北海道社会文庫通信」Ⅱ堅田精司編著。簡易印刷・限定配布の冊子。577号に大槻ユキ、1017号に大瀧ユキ、1057号に渡邊勝平、ハロルド・レーン、丸山護、黒岩喜久雄、1062号にレーン、1110号に宮澤弘幸の消息がある。（真相事務局蔵）

〔18〕北大から真相を広める会宛公文書

① 「故・宮澤弘幸に係る件について」Ⅱ2015（原文は平成25）年5月27日付、国立大学法人北海道大学総長 山口佳三名。真相を広める会代表宛て。

「故・宮澤弘幸氏に係る件について、工学部において、宮澤氏が在学された当時の書類を調査し、下記の公文書を新たに確認いたしましたことをご報告いたします」として、退学願ほかの写しを特定記録・速達で送付。（既出・宮澤弘幸の学内記録に同じ）

② 「故・宮澤弘幸に係る回答要請の件について」Ⅱ20

15（原文は平成25）年12月5日付、国立大学法人北海道大学総長 山口佳三名。真相を広める会代表宛て。

「2013年10月10日付文書で申入れた宮澤弘幸に係る回答要請の件については、6月25日の交渉で伝えた以外に付言することなし」との内容。簡易書留・速達で送付。

③ 「秋間美江子様への文書送付について」Ⅱ2016（原文は平成26）年2月18日付、国立大学法人北海道大学総長 山口佳三名。真相を広める会代表宛て。

「秋間美江子様へ別紙のとおり文書を送付いたしましたので、ご参考まで、貴会にもお知らせいたします。」として、創設する賞に宮澤弘幸名を冠することに了承を求めた文書を同封して送付。

④ 『心の会の碑』（仮称）建立についてⅡ2016（原文は平成26）年10月30日付、国立大学法人北海道大学総長 山口佳三名。真相を広める会代表宛て。

「本年9月30日付け文書で申入れのありました『心の会の碑』（仮称）の建立にかかる要請につきましては、応じることができませんので、ご了承願います。」との内容。根岸正和・真相を広める会事務局次長宛て。簡易書留で送付。

*以上各文書と本会から北大宛発信の公式文書、FAX、電話交信記録等は、「北大に求めた処置と責任―冊子『真相を知ってほしい』補訂第2版」に全文を掲載し、ホームページで公開している。（真相事務局蔵）

【19】真相を広める会の集会と講演とアピール

- ① 2013・1・29 「結成集会」（札幌） 〓 活動方針「宮澤弘幸さんの名誉回復と秘密保全法阻止へ」
- ② 2013・2・23 「宮澤弘幸追悼・顕彰 秘密保全法を考える集い」（東京） 〓 講演「秘密保全法をめぐる情勢」（泉澤章・弁護士）▽寄稿「秘密保全法への道を許さない」（東海林智・元新聞労連中央執行委員長 〓 本会冊子「スパイ冤罪 宮澤・レーン事件 真相を知ってほしい」2013年2月刊所載）
- ③ 2013・10・10 「秘密保護法阻止シンポジウム この道は、いつか来た道」 〓 集会資料（論考）「秘密保護法は軍機保護法がきた道」 〓 『会報』第4号、2013・10・13付号外に収録）▽アピール「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の再来を許すな」 〓 『会報』第5号収録）▽秋間美江子のメッセージ 〓 『会報』第5号収録）
- ④ 2013・10・13 「この道は、戦争への道！ 宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の再来を許すな！ 秘密保護法阻止 札幌集会」 〓 決議「再び宮澤・レーン事件の悲劇を許さず、戦争への道を開く特定秘密保護法案、憲法改悪に断固反対する決議」 〓 『会報』第5号収録）
- ⑤ 2013・12・8 「もうひとつの12月8日札幌集会」 〓 声明「憲法破壊・日本を戦争する国に変える秘密保護法案の強行可決に厳重に抗議する」 〓 『会報』第6号収録）
- ⑥ 2014・2・22 「宮澤弘幸追悼・顕彰のつどい―悪夢を再来させる秘密保護法を許さない」（東京） 〓 講演

「秘密保護法の危険性と安倍政権の暴走」（岸井成格・毎日新聞特別編集委員）▽講演「憲法9条を守り秘密保護法廃棄への運動」（戸塚章介・新聞OB9条の会事務局 長）▽訴え「がんより国の政治の方が怖い」（秋間美江子）▽アピール「悪夢再来の秘密保護法を許さない」（以上、『会報』第7号収録）

⑦ 2014・5・6 「秘密保護法廃棄と宮澤弘幸の名誉回復を求める市民集会」（札幌） 〓 アピール「北海道大学は宮澤弘幸の名誉を回復せよ」 〓 『会報』第9号収録）

⑧ 2014・12・7 「宮澤・レーン事件、秘密保護法廃止市民集会」（札幌） 〓 講演「宮澤・レーン事件から考える特定秘密保護法くこの国はどこへ向かおうとしているのか？」（斎藤耕・弁護士） 〓 『会報』第11号収録）▽アピール「今こそ戦争への道許さぬ決意を固めよう」 〓 『会報』第11号収録）

⑨ 2015・2・22 「戦争への道許さず、秘密保護法廃止を！―宮澤弘幸追悼・顕彰のつどい」（東京） 〓 講演「秘密保護法が与える市民生活への影響―あくまでも廃止を求めて」（清水雅彦・日本体育大学教授） 〓 『会報』第12号収録）▽アピール「戦争への道を許さず、秘密保護法廃止を！ 安倍政権の暴走を阻止するために全力をあげよう！」 〓 『会報』第12号収録）

⑩ 2015・5・20 決意表明「9条は人類の宝・日本国民の誇り 許すな壊憲・戦争法案！」 〓 『会報』第13号収録）▽論考「戦争法案と一体の国民弾圧治安立法 盗聴法・刑事訴訟法改悪を許すな」（福島清） 〓 『会報』第13号収録）

① 2015・12・6 「特定秘密保護法廃止！ 安保法制Ⅱ戦争法廃止！ 宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の再来を許さない道民の集い」(札幌)Ⅱ講演「戦時下の言論・思想弾圧」(荻野富士夫・小樽商科大学教授)(既出、『会報』第14号収録)▽決議「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の再来を許さず、安倍政権の憲法破壊の一切の戦争法の破棄を要求する決議」(『会報』第14号収録)

【20】真相を広める会の記録・文献

① 『会報』Ⅱ第1号(2013・2・4)Ⅲ第14号(2015・12・20)、会報号外①(2016・3・30)Ⅲ会報号外⑥(2016・8・15)。全号収録合本も刊行。

② 『会報別冊』Ⅱ『宮澤・レーン・スパイ冤罪事件 真相を究め広める取組み 軌跡と展望』2016・8・15刊。

▽総括と決定(会発足以来の活動総括と節々で行った活動の方向性を決める全決定)

▽1941年12月8日のこと(宮澤弘幸が検挙された状況の真相究明を目指す論考)

▽1943年5月27日を忘れない(この日付は宮澤弘幸の上告が棄却された日。再審請求に関する論考)

▽建碑に寄せられた意見(北大構内に「心の会」活動の顕彰碑を建てようと呼びかける本会の提起に寄せられた賛同者の意見集)

▽活動経過(本会発足以前の2012・10・23か

ら2016・8・15までの全記録)

▽新聞・NHK・団体機関紙誌等の報道目録(2012・10・24Ⅲ2016・2・24の本会活動とかかわる主な報道の目録)

▽花伝社刊『引き裂かれた青春―戦争と国家秘密』索引(本書刊行時に間に合わなかった索引と若干の編集後記追加)

③ 『宮澤・レーン・スパイ冤罪事件 活動記録と資料集』Ⅱ右の『会報』『会報別冊』と第5パンフ『北大に求めた処置と責任』を「資料集」として合本・製本した。

④ 冊子Ⅱ既出

⑤ リーフⅡ随時、発行。

▽「真相を広め、秘密保護法を廃棄するために」(2014年)

▽「北大生のみなさん、全国のみなさん」(2015年)

▽「二度と許すまじ!」(2016年)

▽「共謀罪 断固反対!」(2017年)

▽「共謀罪 断固反対!」連名版(同)

⑥ 『事務局たより』Ⅱ第1号(2016・9・16)から随時発行・継続中。

⑦ コラム「冤罪忘れるな!」(『事務局たより』連載)

心の会・発祥の地／冤獄・札幌拘留所跡／冤秘・根室海軍飛行場／冤源・内務省一斉検挙／冤犠・天使病院(修道会)／冤庄・マライーニ在日墓／冤裁・師走に一審判決／冤宿・北大生として／冤弾・札幌北光教会／冤狙・開かれた北星学園／起訴・解約・除籍の春／冤罪仕上げた大審院判決／幼な子別離の送還／夏休み労働実習に穿

／連々と生き、逝った青春／弄ばれた交換船の救出／G
HQ 超法規令で釈放／米大使館の帰国勧告を忌避／日米
開戦で一斉検挙／好奇・活発の日々、暗転

⑧ ホームページ (<http://miyazawa-lane.com/>) = 『会報
別冊』発行後の活動を随時掲載。

⑨ 事件関連の現地写真 Ⅱ 北大構内・外国人教師官舎跡▽
マチルド太黒宅跡▽宮澤弘幸下宿跡▽北星学園▽北光教
会▽天使病院▽レーン家墓地▽宮澤家墓地▽マライーニ
墓地▽札幌拘置所跡▽網走刑務所旧正門▽内務省跡▽裁
判所跡（いずれも真相事務局蔵）

【21】資料・文献の保存・展示施設

北海道大学総合博物館

Ⅱ 北海道札幌市北区北8条西5丁目北大構内

北海道大学百年記念館

Ⅱ 北海道札幌市北区北8条西5丁目北大構内

北海道大学文書館

Ⅱ 北海道札幌市北区北8条西5丁目北大構内

札幌市公文書館

Ⅱ 北海道札幌市中央区南8条西2丁目

札幌市資料館

Ⅱ 北海道札幌市中央区大通西13丁目

国立国会図書館（東京本館）

Ⅱ 東京都千代田区永田町1の10の1

国立国会図書館（関西館）

Ⅱ 京都府相楽郡精華町精華台8の1の3